

PostgreSQL 8.3.5 起動と停止

[PostgreSQL][PostgreSQL 8.3.5]

<http://www.postgresql.jp/document/current/html/server-start.html>

データベースサーバの起動

- ・データベースにアクセスするためには、まずデータベースサーバを起動する
- ・postgres プログラムは自分が使用するデータがどこにあるのかを知っている必要があり、これは -D オプションで指定する
- ・PostgreSQL ユーザアカウントにログインして実行する必要がある
- ・-D オプションが指定されていない場合、サーバは PGDATA 環境変数で指定されたデータディレクトリを使用しようと試みる

■ フォアグラウンドで実行

```
$ postgres -D /usr/local/pgsql/data
```

■ バックグラウンドで実行

- ・通常は、バックグラウンドで postgres を起動

```
$ postgres -D /usr/local/pgsql/data >logfile 2>&1 &
```

pg_ctl ラッパプログラム

- ・シェル構文は長くなりがちです。そのため、pg_ctl ラッパプログラムが提供されていて、いくつかのタスクを単純化する

詳細は pg_ctl --help 参照

■ 起動

```
$ pg_ctl start -l logfile
```

■ 停止、再起動

```
$ pg_ctl [stop|restart] -m シャットダウンモード
```

シャットダウンモード

シャットダウンモード	内容
smart	すべてのクライアントが切断してから終了
fast	直ちに完全な終了を行う
immediate	不完全な終了、リスタート時にリカバリが必要